

洋書輸入協会会報

VOL. 19

NO. 11

(通巻223号) 昭和60年11月

理事会報告

9月26日(木)

(一) 懇談会

9月12日開催された懇談会には56社68名の出席者があったことが報告された。10月4日の総務委員会でも、次回の理事会に今後の対応について提案することとなった。

(二) 洋書輸入拡大

小林理事長代理から9月19日に海外出版物輸入増大に関して陳情したことが報告された。

(三) 振替口座

事務局長の提案にもとづき、会員の便宜をはかるため、振替口座を開設することが承認された。

(四) 協会事務室の移転

603—604号室から611—612号室へ移転することとなった。

(五) その他。

10月11日(金)

(一) 9月分収支計算・予算対比表

事務局長の報告どおり承認した。

(二) 洋書の輸入拡大対策

洋書の輸入拡大について陳情書を提出したことについて報告があり、この陳情書を会員に通知することと

して、その文案を承認した。

(三) 9. 12. 懇談会のまとめ

10月4日開催された総務委員会のまとめを承認し、この原案に従って各委員会で行動をおこすこととした。

(四) CULCON '86

9月にホノルルで開催された予備会談では洋書の問題はペンディングとなり、1986年7月東京で日本文化の紹介をテーマとした書籍展示会が催されることとなった旨報告された。

(五) その他。

来日外人名簿

10月中旬 Mr. Anthony Watkinson, Managing Editor,
Oxford University Press, U. K.

10月下旬 Mr. Brian Cox, General Manager,
Journal Sales, Pergamon Press Ltd.,
U. K.

11月下旬 Mrs. Sarah Dunn, Marketing Manager,
Pergamon Infoline Ltd., U. K.

理事会報告……………	1	フォーティラブ会秋・夏の合宿	2	おしらせ……………	7
来日外人名簿……………	1	洋書輸入協会史 (3)……………	3	総代理店ご案内……………	7
第17回洋書まつり……………	2	外国出版社紹介 No.113 ……	5	広告……………	8
文化厚生委員会だより		海外ニュース……………	6		
秋季釣大会……………	2	書籍展示会のおしらせ……………	6		

第17回洋書まつり

恒例の洋書まつりが10月4日・5日の両日、今年も神田駿河台下東京古書会館にて開催されました。初日、ちょっぴり雨に降られたものの、おおむね天気は良好で、客脚も順調にのびていきました。

ここ数年の傾向として、外人客が増え業者が少なくなっていますが、売上のほうは昨年につづいて今年も400万円台の大台にのり423万円という最高記録を達成しました。

今回、梱包の手間を省くため、「JBIA」のマーク入り手提げ紙袋を使用、販売量増加に対処して効率よくさばくことができるようになりました。

22社が参加したこの催し、来年も成功させたいものです。

みなさまありがとうございました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

(SN)



文化厚生委員会だより

秋季釣大会

10月26日、前日都内ではかなり強い風が吹き翌日の天気が心配されたが、幸い曇り空ながら風はほとんどなく、海もおだやかな釣日和となりました。目指す鰯をもとめて江の島から約30分、相客6人を含め40人乗りの船に20人、わりとゆったりした船中でそれぞれ仕掛けの準備。航走約40分後、船頭の合図で鰯をすりつぶしたコマセをビシにつめた仕掛けを海中へ、深さ100メートルとのことでおもりが海底に届くまでかなりの時間がかかる。海底から4メートル程のところでビシよりコマセを振りまいて魚を集め魚信を待つ。あたりがあつてからが大変、100メートルの底から手ぐりで引き上げるのに数分、コマセをつめかえては再び海中へ。これの繰返しで昼過ぎにはビシの上げ下げで疲労困憊。丁度その頃より潮の流

れも速くなり、その上釣り上げた鰯が海面近くを走り廻り、あちらこちらで糸がからみ合うおまつり騒ぎが続き、3時に打止め。

釣果は参加者14名で30センチ前後の形のいい鰯13尾、鯖はそれぞれクーラー満杯。順位は鰯の数で決めましたが、2位以下は同数のためジャンケンで決めた結果、用意した賞品は次の各氏にわたりました。

- | | | | |
|----|----|----|--------|
| 一位 | 3尾 | 池田 | (洋 販) |
| 二位 | 2尾 | 藤田 | (南江堂) |
| 三位 | 2尾 | 今井 | (洋 販) |
| 四位 | 2尾 | 若松 | (南江堂) |
| 五位 | 2尾 | 斉藤 | (日ソ図書) |

(MT 記)

フォーティラブ会 秋・夏の合宿

10月28日付朝日の夕刊は、今秋一番の冷え込みを伝えて、雪をかぶった富士山頂を載せた。全国に報道されたこの雪化粧を、前日の早朝、伊豆で眺めた幸運な人達が協会にもいる。フォーティラブの秋の大仁合宿に集まった14人の紳士である。余程おこないの正しい人ばかりで、5年前からこの会の企画は雨にたたられた例がない。

紳士が14人と書いたが、意図した訳ではないのに、そう男性ばかりだった。テレビでみられるように、若い女性に満たされているのは隣のコート。話題はおのずと現代の重要課題に移る。即ち若い人の不足である。社会の縮図とまで気取らなくとも、成熟した職種の証しなのか、この業会に新人の加入が少なくなってもう久しい。噂にのぼる高齢化社会は、こうした様々な組織の非活性化という形で、すでに始まっているのではないかと思う。

めげる気持とは無関係に、テニス合宿は燃える一方。紅白の対抗戦も6ゲーム先取の8試合と、めでたく打ち上げ各自腕の進歩をそれなりに実感して後、干物を土産に帰京の東名渋滞ドライブ。

これに先立つ8月17日、世田ヶ谷のクラブ「成城グリーンプラザ」で夏の一日合宿が催された。立冬の今では想像も出来ない暑い最中、しかも鉄板焼を思わせるハードコートにもかかわらず、延50名を越える参加があった。

日本中で1200ヶ所あるというテニスクラブでも屈指の名門とあって前評判も高かったが、プロのレッスンコーチと飲み食い放題のバーベキューパーティを用意した幹事も大いに報われた一日となった。

(写真を7ページに掲載)

洋書輸入協会史(3)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

2.3 海外出版物輸入同業会会員名簿

2.3.1 会員名簿

規約と共に会員名簿が作られ、また理事が選挙され、常任理事が互選された。会員名簿は、石川実氏の「洋書こぼれ話 Vol. 4 No. 3、昭和45年3月号」にも収録されているが、これに各社所在の所番地までを加えて、原文のまま下記に再録する。

(記)

会員名簿

昭和16年3月現在
(順序不同)

名 称	代表者氏名	営 業 所
合資会社 パート商会	弘田親輔	東京都麩町丸ノ内3-12 仲3号館
丸善株式会社	山崎民雄	東京都京橋区京橋2-8 第一生命京橋分館
株式会社南江 堂	小立鉦四郎	東京都本郷区春木町3-32
三省堂商事 株式会社	永井茂彌	東京都小石川区春日町1-1
日獨貿易 株式会社	作田敏世	東京都日本橋区室町2-4 三和ビル
株式会社三越	桜井信四郎	東京都日本橋区室町1
一色商店	一色頼一	大阪市北区梅ヶ枝町47
株式会社 教文館	殖栗文夫	東京都京橋区銀座4-2
欧亜書房	ルーペルト・ エンデルレ	東京都芝区新橋2-30織 田ビル内
オスカー・ロ ータッケル	高山三郎	東京都本郷区元町1-1
東京出張所 ダスタフ・フ オック書店	イダ・ バフテル	東京都京橋区銀座西7-3 資生堂ビル内
株式会社 国際書房	服部正喬	東京都神田区小川町3-5
福本書院	福本初太郎	東京都本郷区本郷4-21

株式会社 金原商店	金原作輔	東京都本郷区湯島切通坂 町21
山川商会	山川隆雄	東京都京橋区銀座6尾張 町ビル内
東光堂書店	石内茂吉	東京都神田区錦町3-22
三羊社	西田和四郎	東京都下谷区西黒門町17
大竹書店	大竹孝吉	名古屋市中区老松町11-20
西村商店	西村吉久	東京都京橋区京橋1-4

2.3.2 理事氏名

常任理事	丸善株式会社	山崎民雄
理 事	株式会社 三越	桜井信四郎
同	株式会社 南江堂	小立鉦四郎
同	三省堂商事株式会社	永井茂彌
同	合資会社 パート商会	弘田親輔
同	株式会社 国際書房	服部正喬

2.3.3 創立時の会員について

昭和16年3月の同業会創立当時の会員は19社であり、戦後の昭和21年8月に再建された時の会員は14社である。差引き5社の減少であるが、戦後のそれには日本出版配給株式会社が加わっているため、実際には6社が欠けている。

昭和21年7月11日に、終戦後初めての懇談会が、国際ビルの3階において9社集まって開催されるが、そのときの議事録に、

「出席会員に問い合わせの結果、下記会員は廃業(又は休業)せるものと認む。

記

日獨貿易、一色商店、欧亜書房、グスタフ・フオック、ロータッケル、三羊社、西村商店」と記載されている。

この7社のうち、欧亜書房は一ヵ月後の8月21日の再建総会において承認された「海外出版物輸入協会定款」

の附録の会員名簿の最後に、ルーペルト・エンデルレ書店として参加しているので、実際には6社の不参加であり勘定が合う。戦後不参加の6社のうち、ロータッセル社は周知の会社であるので説明は不要であろう。グスタフ・フオックは、ドイツのアカデミツシェ フェアラークの兄弟会社であり、古書・バックナンバー専門店であった。

ここで創立総会に参加し、戦後の再建総会にも名を連ね、同業会で重要な役割を果たしながら、昭和30年頃に亡くなったたばこ商会の弘田親輔氏のことに一寸触れておこう。

同氏は大正6年東京外語のドイツ語科卒、業界に多い東京外語出身者の大先輩に当る。父上は著名な医者で宮中にも招かれていた。また当時先端的であったスポーツ医学にも関心を持たれていたとのこと。たばこ商会は丸の内のレストランのビルの中に小さな事務所があったので、商用で訪問されたことのある方もあるであろう。旺文社の赤尾好夫氏は、弘田氏の2～3年後輩で、創業時には弘田氏の応援があった由。

4. 同業会の創立前後より終戦まで

4.1 太平洋戦争突入まで

同業会の創立は、当局の指示もあって外誌クラブ洋書輸入懇話会が主体となり、昭和16年3月に結成されたことは前述したが、その規約などを作製するに当たって文案を練ったのは、外誌クラブのメンバー即ち丸善・三省堂・三越・南江堂の4社であり、中でも丸善と共に南江堂の浅野氏が苦心したものという話がある。当時の浅野氏は、丸善の水間音吉氏と共に業界における外国雑誌の権威であった。

同業会が成立し、理事会はその記念に伊豆の大島に旅行するなどのことがあり、月一回定期的に理事会を開催し続けた。しかし6月22日には独ソ戦争が始まって、シベリヤ鉄道経由のルートが途絶し、ヨーロッパ書は海路による輸入のみとなる。そして12月8日の太平洋戦争への突入で、洋書輸入は全面停止となってしまう。

この間の経緯を、再び石川実氏の「洋書こぼれ話、Vol. 4 No. 3」より要点を再録すると、

- (1) 監督官庁である内閣情報局の担当課長井上司郎氏（同氏は歌人でもあり、ペンネームを逗子八郎といっ

た）は、洋書に対しても業者に対しても理解があった。しかし洋書輸入審議会の空気は厳しく、時の経過と共に発注前に書目リストを提出するようになり、後には一点一点カードにして提出、同課の承認をとってから発注することになった。

- (2) 独ソ開戦後シベリヤ便は忽ち途絶し、以後欧州よりの洋書輸入はスエズ或いはケープタウン経由となった。しかし続いて各国の我国資産の凍結、輸出禁止が始まり出したが、このような状況が察知されるようになってから政府は各方面からの強い要望により、あわてて理・工・化・技術関係及び緊急に必要なと思われる洋書の、超特急での輸入を計るよう情報局を経由して業者に要求された。そのために為替の包括許可も認め、また（秘）ニュースまで提供され、業者もあらゆる手段を講じてみたが時期既に遅かった。

- (3) 欧州・英国などからの最初の邦人引揚船などによる引き取りも行われたが、一部分の輸入に成功しただけで同年12月8日の太平洋戦争爆發、洋書輸入の全面的途絶となった。

4.2 太平洋戦争開戦より終戦まで

この期間に洋書に関連した出来事は二つある。その他については、定期的に理事会を開いても為すべきこともなく、情報局から入手したニュースを話題とし、必要なものは周知するぐらいのことで、他は雑談で終る他はなかった。

洋書に関連した出来事の一つは、開戦によって途絶した洋書、特に理工学関係の文献を何とか入手したいと、時の情報局洋書担当課長古海海軍中佐を始め軍部当局の要望によって、丸善石川氏、上住氏、それと三越の玉井弥平氏の三人が、情報局の鈴木謙介情報官に同行して南方に出張したことである。

この四人は昭和17年11月に東京を出発、サイゴンで二手に分れ、玉井氏と上住氏は仏印・タイ・シンガポール・マレー、石川氏と鈴木氏はシンガポール・インドネシア・フィリピンにおもむき各地書店の在庫書、研究所・調査機関などの刊行物などの調査、収集などを行ない、翌昭和18年2月に帰国し、当局より感謝された。このことは石川実氏の「洋書こぼれ話、Vol. 4 No. 3」と、丸善百年史1,060～1,065ページに詳しい。

ただしこの調査行は、情報局よりの秘命であり、丸善・

三越が一方的に同業会の中から選ばれて出張したものであるので、他の同業者は全く関知するところなかった模様である。

もう一つの洋書に関連した出来事は、開戦後洋書の輸入が全く途絶した状態の下で、情報局の指示によって必要欠くべからざる理工学の本・バックナンバーを複製したことである。ただし同業会の会員は、指定された本を提供しただけであり、実際の複製は学術文献出版社(資本金19万5千円)において取りしきった。その用紙は、その文献の複製が必要である旨の軍の証明が発行された上で、割当を受けていた。同業会創立時のメンバーのグスタフ・フロック書店などは、貴重な雑誌を提供している。これらの複製は全部で20点ほども行われたであろうか。今となっては知る人も少ない戦争中の秘話である。

4.3 南方への出店

南方占領地域の治安が回復すると、その地域に書店を設けることが軍部によって立案され、その協力方を日本

出版配給株式会社に求めてきた。その結果昭和17年5月に陸軍次官の指令によって、丸善・三省堂・三越・金文堂の四社が指定され、丸善はバタビアに、三省堂と三越は昭南市(シンガポール)に、金文堂はスラバヤに開店することとなった。いずれも成功したが、終戦前後に閉店している。四社のうちの三社が海外出版物輸入同業会の理事会社であったことや、南方出店の後現地に残存する書物や文献の収集を計ったことなどから、同業会として関係した仕事ではないがここに附記することとした。(この項丸善百年史、三省堂書店百年史より)

4.4 終戦近く

売本がなく、社員は出征し或いは勤労働員となり、空襲は激化して被災が続出する中で、同業会が有名無実の状態になっていたのは止むを得ないことであった。

(注)今回は、国際書房の服部正喬会長、メクレンブルグ商会の鈴木和夫社長より伺ったお話を参考と致しました。(つづく)

外国出版社紹介 No.113

Peter Owen Ltd.

73 Kenway Road London SW5 ORE U. K.

Peter Owen 社は、1951年に現在の社長である Peter Owen 氏によって創立された小さな出版社であるが、創立以来わずか30余年たらずの間に一流の文学系出版社の仲間入りを果たしている。

同社は、最大限、世界的に著名な良質のフィクション、ノンフィクションの出版を手がけることを方針としており、その中には Voluntary Euthanasia (自由意志による安楽死) のような現代の諸問題を扱った社会学系タイトルも含まれている。現在までに出版を手がけた著者には Hermann Hesse, Marc Chagall, Jean Cocteau, Anais Nin, Anna Kavan, Paul Bowles, Jane Bowles, Lawrence Durrell, Dali, Erté, Max Weber, Bernard Shaw, Ezra Pound, Colette さらに三島由紀夫 (Madame de Sade)、夏目漱石 (Botchan, I Am a Cat, Kokoro, Light and Darkness, Mon)、芥川龍之介 (Kappa)、川端康成 (The Lake)、有吉左和

子 (The Twilight Years)、丹羽文雄 (The Buddha Tree)、遠藤周作 (The Sea and Poison, Stained Glass Elegies, Volcano, When I Whistle, The Samurai, Silence, Wonderful Fool) といった面々が並ぶ。中でも遠藤周作、Jane Bowles らの作品は世界各国に著作権を所有している。

創立以来、会社としての規模にさほどの変化はないが、フィナンシャル タイムズ紙等で、“強力な著者を揃えた英国有数の専門出版社”、“輝かしい業績で数ある小出版社の台頭を促がし新風を巻き起こす出版界のダビデ的存在”などと評され、大手出版社に対抗し、独自の出版姿勢を貫くユニークな出版社として高く評価されている。社長の Peter Owen 氏は、日本へも何度か訪れたことのある気さくな人柄の親日家で、遠藤周作氏とも知己の間柄である。

「Raven Press 買収さる」

医学書の出版ではアメリカでトップ10に入るニューヨーク市の Raven Press は、オランダに本部をもつ国際出版社 Wolters Samson Group に買収された。

Raven Press の創立者である現社長アラン・エーデルソンは、「これにより社業は一層発展し、従業員も酬いられるであろう」と云っている。同社の従業員数は95名である。

Wolters Samson Group は、オランダのほかイギリス、ベルギー、アメリカに系列会社をもっている。アメリカではヘルス・ケアの専門出版社 Aspen Systems Corporation や税金や財務関係の情報を売る Panel Publishers Inc. などが傘下に入っている。

(Publishers Weekly 10月18日号より)

「コンピュータ書激減」

コミュニケーション・トレンドズ社が発行した「コンピュータ出版社と出版物、1985-86」によれば、アメリカの有力17社のコンピュータ関連書(一般書および専門書)の1985年1月から7月までの出版点数は、1984年の同期に比較して43%も減少した。

アメリカのコンピュータ関連書は1982年の1,300点から1984年には2,300点へと77%も増加した。コンピュータ出版物の総売上高は、1983年には606百万ドルにのぼった。このうち39%が書籍の売上で、新聞および雑誌が50%、ニューズレター等が11%を占めていた。

1985年半ば現在ではコンピュータ関係の定期刊行物は890点発行されており、1980年と比較すると151%も増えている。

(Publishers Weekly、10月11日号より)

「英書の増勢続く」

英国書籍の総出版点数は、昨年51,500点という史上最高の記録をうち立てたが、今年に入ってもその増勢は続き、1月から9月までの出版点数は昨年同期の数字を

2,500点、7%も上回っている。今秋の新刊も多く、年間のトータルでは昨年より約4,000点(約10%)増加する見込みである。

この傾向は大方に歓迎されず、むしろ批判的に論じられている。英国書籍市場は出版点数増に見合うほど成長しておらず、すでに飽和状態に達していると思われるからである。質的にも問題があり、同じ柳の下ばかり狙ったものが多い。今年の前半にすでにハードバックの返本率の増大が目立ってきたが、今後さらにそれは激化しよう。きわめて危険な傾向であると危ぶむ声強い。

(The Bookseller、9月28日号より)

— (株) 紀伊國屋書店提供 —

書籍展示会のお知らせ——1986年

第18回カイロ国際書籍展示会 1月21日—2月3日

18th Cairo International Book Fair

International Fair Grounds, Nasr City

第6回メキシコ国際書籍展示会 3月8日—16日

6th International Book Fair of Mexico

Palacio de Minería, Mexico City

第18回ブリュッセル国際書籍展示会 3月8日—16日

18th International Book Fair of Brussels

Centre International Rogier, Brussels

第23回ボローニャ児童図書展示会 4月10日—13日

23rd Bologna Children's Book Fair

Bologna Fair Grounds

ケベック国際書籍展示会

4月22日—27日

Quebec International Book Fair

Quebec Municipal Convention Center

第31回ワルシャワ国際書籍展示会 5月21日—26日

31st Warsaw International Book Fair

Palace of Culture and Science, Warsaw

第86回 ABA 大会・展示会 5月24日—27日
86th American Booksellers Association Convention
and Trade Exhibit
Convention Center, New Orleans

第105回 ALA 大会 6月28日—7月3日
105th American Library Association Conference
Jacob J. Javits Convention Center, New York

第4回国際書籍展示会 9月24日—28日
Liber '86. 4th International Book Fair
Fira de Barcelona

第38回フランクフルト書籍展示会 10月1日—6日
38th Frankfurt Book Fair
Frankfurt Fair Grounds

第3回カイロ国際児童図書展示会 11月25日—12月8日
3rd Cairo International Children's Book Fair
International Fair Grounds, Nasr City

おしらせ

次の通り住所および社名変更の通知がありましたので
おしらせします。

新住所：

株式会社 大阪洋書
〒564 吹田市千里山東1-11-17
☎(06)388-4794

ノベルティ株式会社
(旧、ノベルティ ブックサービス株式会社)
〒550 大阪市西区立売堀1-1-1
立売堀一番館ビル 3F
☎(06)532-3671
Fax (06)532-0423

総代理店ご案内

ユサコ (株) ☎(03)502-6471
Journal of Histochemistry and Cytochemistry
“Journal of Histochemistry and Cytochemistry”
American Orthopaedic Society for Sports Medicine
“American Journal of Sports Medicine”



(フォーティラブ会 60・8・17)



(フォーティラブ会 60・10・27)



マークをうまく使うには

機械可読目録入門

黒沢正彦・西村 徹 編

A5判 312頁 定価2,500円

MAchine ReadaBle Cataloging

マークを うまく使うには

機械可読目録入門

黒沢正彦
西村 徹 編

三洋出版貿易株式会社

内容

1. なぜマークは生まれたか
 2. マークとはどのようなものか
 3. マークにはどのような種類があるか
 4. LCマーク
 5. ジャパン・マーク
 6. 日本で市販されているマーク
 7. マークはどう使ったらよいか
 8. マーク利用の実例
 9. マークの効用、限界、問題点、そして将来
- 資料I LCマーク・フォーマット仕様
資料II マークに関する文献目録

執筆者

石塚英弘 (図書館情報大学)
伊藤 峻 (多摩市立図書館)
及川美知子 (文京区立水道端図書館)
黒沢正彦 (東京理科大学記念図書館)
沢田 創 (国際基督教大学図書館)
田村貴代子 (国立国会図書館)
鶴田真也 (国立国会図書館)
常世田 良 (浦安市立中央図書館)
戸田あきら (世田谷区立梅丘図書館)
西村 徹 (産業能率短期大学)
丸山昭二郎 (国立国会図書館)
山崎久道 ((株)三菱総合研究所)
渡部満彦 (慶應義塾大学三田情報センター)

三洋出版貿易株式会社

*ご注文はもよりの書店か、直接小社まで。

本社	〒103 東京都中央区日本橋茅場町1-11-8(紅萌ビル)	電話03 (669) 3761	振替・東京6-82169
大阪営業所	〒540 大阪市東区内平野町2-37(石井ビル)	電話06 (947) 1150	振替・大阪1-8265
筑波営業所	〒305 茨城県新治郡桜村天久保1-13-1	電話0298(51)8091	
新居浜出張所	〒792 新居浜市西原町1-3-18(昭和ビル)	電話0897(32)2530	

昭和60年11月

通巻第223号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 蓋沢ビル603号室 ☎271-6901

〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329